

令和2年 第3回 臨時

摂津市教育委員会会議録

開催日時 令和2年8月11日（火） 午後 1時00分開会
午後 3時30分閉会

開催場所 摂津市教育センター 3階 ホール

その他

議案番号	件名	審議結果
35	摂津市立小中学校における令和3年度使用学校教育法附則第9条 関係教科用図書、摂津市立小中学校における令和3年度使用教科 用図書採択の件	承認

出席者

<p>教 育 長 教育長職務代理者 委 員 委 員 委 員</p>	<p>箸尾谷知也 福元 実 大矢優子 西川俊孝 坂井知子</p>	<p>教育次長兼教育総務部長 教育総務部参事 教育政策課長 教育支援課長 兼教育センター所長 教育支援課長代理 教育政策課主幹兼総務係長 教育政策課係員</p>	<p>北野人士 野本憲宏 松田紀子 藤山 京 小原理乃 岡田哲也 藪田江里佳</p>
---	--	--	---

教育長

ただいまから、令和2年第3回教育委員会臨時会を開催いたします。本日の署名委員は大矢委員です。よろしくお願いいたします。

本日の附議事件が1件ございます。

それでは、議案第35号「摂津市立小中学校における令和3年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書、摂津市立小中学校における令和3年度使用教科用図書採択の件」について、教育支援課から説明をお願いします。

教育支援課長

議案第35号「摂津市立小中学校における令和3年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書、摂津市立小中学校における令和3年度使用教科用図書採択の件」について、ご説明申し上げ承認を求めます。

【以下、議案書等により説明】

教育長

それでは審議に入るにあたり、本議案に関する本日までの教育委員会としての活動の経過を説明させていただきます。

教育委員会は、令和2年3月27日付け文部科学省初等中等教育局長通知「教科書採択における公正確保の徹底等について」、ならびに同日付け文部科学省初等中等教育局教科書課長通知「令和3年度使用教科書の採択事務処理について」、および令和2年4月15日付け、大阪府教育委員会教育長通知「義務教育諸学校における令和3年度使用教科用図書の採択について」に基づき採択の公正確保と静ひつな採択環境の確保に十分留意するとともに、専門的な調査研究活動を行うため、令和2年4月15日の教育委員会議で設置することとした令和2年度摂津市小中学校教科用図書選定委員会に対し、4月24日付で「摂津市立小中学校における令和3年度使用学校教育法附則第9条関係図書の選定に関する事項、並びに摂津市立小中学校における令和3年度使用教科用図書の選定に関する事項」に関して諮問を行いました。

諮問を受けた選定委員会では、附則第9条関係図書の選定に関し協議されるとともに、中学校の教科用図書については令和3年度使用中学校教科用図書調査員を選任され、全種目の研究協議を重ね、去る令和2年7月27日教育委員会に対して答申をご提出いただきました。

答申では、第1に、附則第9条関係図書について、小学校から拡大教科書の必要性のある児童について報告があったことを踏まえ、対象児童が必要とする種目の「拡大教科書」（令和3年度使用教科用図書として採択された発行者の教科用図書を拡大したもの）を使用することが望ましいこと、第2に、中学校教科用図書については、見本の必要部数やその発送日時についての条件を満たした発行者のうち、その特徴や各者を比較した点、並びに採択候補が種目ごとに発行者数に応じて1者又は2者記載されておりました。

答申を受け、教育委員会では、令和2年7月27日と29日、8月5日の3日間、教科用図書採択に関する学習会を開催し、令和3年度使用附則第9条関係図書及び令和3年度使用教科用図書の採択について意見交換を行いました。資料としては、中学校全種目の全発行者の教科用図書、および選定委員会答申、調査員による調査研究報告書、並びに学校からの意見書、教科書見本展示会において寄せられた市民からのご意見、さらには大阪府教育委員会発行の令和3年度使用教科用図書選定資料・中学校用を参考としました。以上がこれまでの活動の経過です。

各委員から何か補足はございますか。

全委員

異議なし。

教育長

それでは異議なしとのことですので、議案審議に入ります。

まず、令和3年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書については、先ほど申し上げたように小学校から採択の必要性についての申し出がありましたので、選定委員会の答申に基づき、対象児童が必要とする種目の令和3年度使用教科用図書として採択された発行者の教科用図書を拡大した「拡大教科書」を採択することとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

それでは、令和3年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書については、対象児童が必要とする令和3年度使用教科用図書として採択された発行者の教科用図書を拡大したものを採択することといたします。

次に、摂津市立小中学校における令和3年度使用教科用図書採択に移ります。

まず、小学校における令和3年度使用教科用図書についてです。教科用図書は「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令」により、原則として採択替えは4年に1度とされており、小学校教科用図書は、今回は令和元年度に採択替えを行いました。従いまして、今年度は採択替えの年ではありませんので、摂津市立小学校における令和3年度使用教科用図書については、今年度と同様のものを採択することといたしたいと思っております。よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

異議なしとのことですので、摂津市立小学校における令和3年度使用教科用図書については、今年度と同様のものを採択することといたします。

では、続きまして、中学校教科用図書についての審議に入ります。まず、最初に種目ごとに私から選定委員会の答申、並びに過去3回の学習会における各委員のご意見のうち主なものについてご報告させていただきます。報告の後、改めてご審議いただき、種目ごとに採択したいと思っております。

国語に関しては、東京書籍・三省堂・教育出版・光村図書の4者から見本本が届きました。全発行者とも、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成するための工夫がなされていました。

各者のおもな特徴としては、「東京書籍」は、巻末の基礎編で学びを支える言葉の力などが資料として整理してありました。

「教育出版」は、巻頭に教科書の仕組みや使い方、教材の学習内容の一覧を記載した「言葉の地図」があり、教科書の内容を見通すことができる工夫がなされていました。

選定委員会から候補として推薦された「三省堂」は、「読み方を学ぼう」で、文章を正確に読み解き、深く読み味わうための読みの方略が図式化されるなど工夫がなされていました。また、「学びの道しるべ」には、「思考の方法」が掲載されており、考えを整理し

たり深めたりする方法がわかりやすく説明されていました。

同じく、候補として推薦された「光村図書」では、課題に取り組む手掛かりを図式化した「学習の窓」や、情報の扱い方を図や具体的な場面で示した「思考のレッスン」など分かりやすい工夫がありました。

以上が報告となります。

では、審議に移ります。国語についての採択を行いますので、各委員のご意見をお願いします。

西川委員

中学生ではじめて古文や漢文に触れることを考慮すると、三省堂及び光村図書が好ましいと思います。さらに、物語や説明文を図式化していくことで文章を構造化する力がつくと考えており、図式化されて分かりやすい三省堂が良いと思います。

坂井委員

私も三省堂が良いと思います。その理由として、適度に行間を開けてページを使い、読みやすい工夫がなされていることや「学びの道しるべ」で学習の流れを分かりやすくして、「読み方を学ぼう」で物語の読みどころや関係性が図式化され理解しやすいことから、三省堂が良いと思います。

大矢委員

私は光村図書が良いと思いました。坂井委員と西川委員のご意見のとおり、三省堂は理解しやすくする工夫がされていると感じました。一方で、光村図書は「読む・書く・話す・聞く」という活動の所で、説明が非常に詳しくて、図式化やイラストの活用、あるいはデジタルコンテンツで話し合い活動が見られるなど、より深い学びに繋がるような工夫がされており大変良いと思いました。

また、デジタルコンテンツについて、1年生の教科書のなかで、作者の言葉やインタビューを入れており、授業の導入としては非常に面白いつくりになっている点も評価でき、私としては光村図書が良いと思います。

福元教育長職務
代理人

私は三省堂が良いと思います。内容の把握から読み取りを深めるポイントが図式化され、自分の考えや、ふり返りなど流れが一貫しており非常に分かりやすいという理由から、三省堂が良いと思います。

教育長

私は光村図書が良いと思います。各者とも様々な工夫をしていただいていると感じました。そのなかでも、QRコードを活用した動画やアニメーション等のデジタルコンテンツをどのように教科書に取り込んでいるのかという視点で比較したとき、光村図書は実際に話し合いをしている場面を動画で見ることができるという点が優れていると思いました。また、QRコードが該当ページに載っており、授業のなかでの取組みが途切れにくいと思いました。以上の理由から光村図書が良いと思います。

意見が分かれておりますが、三省堂が3名、光村図書が2名ということですので、国語は三省堂を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

異議なしとのことですので、国語は「三省堂」といたします。

次に書写に関しては、東京書籍・三省堂・教育出版・光村図書の4者で、いずれも文字を正しく整えて速く書くことや、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫が見られました。

各者の特徴としては、「三省堂」は、教科書の冒頭で学習の流れについての解説があり、学習の見通しを立てやすくなっていました。

「光村図書」は、「書写ブック」があり、3年間の学習をまとめやふり返りができる工夫がありました。

選定委員会から候補として推薦された「東京書籍」は、「書写のかぎ」により、単元のポイントが分かりやすく、また、巻末の書写活用ブックで教科の学習や日常生活の中でよく使う書式がまとめられていました。

同じく、候補として推薦された「教育出版」は、学習の導入段階に、効果的なノートの書き方について考える単元があり、書写の学習の意義について確認することができるようになっていました。以上、書写についての報告です。

それでは、書写についての採択を行います。各委員ご意見をお願いいたします。

福元教育長職務
代理者

私は、東京書籍が良いと思います。昨今、手書きで文字を書く機会が非常に減っており、手書きの良さをいかに子どもたちに伝えられるかが大事であると考えます。例えば、POPを書くときにいかにきれいに見せるかなど、手書きの良さを伝える工夫がされているのは、4者のなかでも東京書籍であると感じました。

大矢委員

私も東京書籍が良いと思いました。4者の教科書とも大きな違いはありませんが、書く時の姿勢について、「腰を丸くしない」と書いてありまして、摂津市では立腰で書くということに各校取り組んでおりますので、腰の記述があるのは好ましいと思いました。

また、ひらがなの見本について、例えば「の」は丸の形とか、これは四角い形とか、全体の字形を整えるよう書いています。さらに文字の配置は、何かを書く時、文字をどういう配列で書いたら分かりやすいかとか、失敗例を掲載するなど字を書くことが苦手な人にとっても親切な内容になっていることから、東京書籍が良いと思います。

坂井委員

4者とも分かりやすく、実用的な例も多く記載されておりました。そのなかでも東京書籍は例の記載が多く、ページの左端に書き方のポイントや行書と楷書の使い分けなど特に工夫されていると感じた東京書籍が良いと思います。

西川委員

私も東京書籍が良いと思います。選定委員会からも「身近な手書きの文字の例が豊富に掲載され」と評価があり、文字の成り立ちや歴史の部分、パスポートや様々な具体的な例があり、東京書籍が良いと思います。

教育長

東京書籍も良いですが、私は光村図書が良いと思います。QRコードから見られる動画では、他者にはない朱書きの運筆動画が用意されています。黒ではなく濃淡のある朱書きで筆遣いがわかりやすく、本市として全児童生徒に1台ずつのタブレットの配布を予定していることもあり、授業のみならず、興味のある児童生徒が家庭でも学習できることも期待できることから、光村図書が良いと思います。

意見が分かれましたが、東京書籍4名、光村図書1名ということ

ですので、書写は東京書籍を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

異議なしとのことですので、書写は「東京書籍」といたします。ただし、各者にお伝えしたい点として、出欠確認をするのがきを回答する教材にて、「出席させていただきます。」や「出席いたします。」、「出席します。」と発行者によって記載のばらつきがありました。発行者の皆様におかれましては、一度ご覧いただき今後の参考にしていただければと思います。

それでは次に社会に移ります。社会・地理的分野については、東京書籍・教育出版・帝国書院・日本文教出版の4者から見本本が届きました。4者とも社会的事象に関する地理的な見方・考え方を働かせ、地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察し、課題解決に向かうための工夫がなされていました。

各者の特徴としては、「教育出版」は、毎時間の学習課題が提示され、まとめとして「表現」の問いが設けられており、学習したことを活用してまとめたり、話し合ったりできるようになっていました。

「日本文教出版」は、各単元・各項目において、どの「見方・考え方」に立つべきか明示され、また、「地理的な見方・考え方」が具体例を用いて示されるなど、意識して学習に取り組むことができるよう工夫されていました。

選定委員会から候補として推薦された「東京書籍」は、基礎・基本を確認する「チェック」と要点をまとめたり、説明したりする言語活動を行う「トライ」など学習内容を確実に定着できるよう工夫されていました。

同じく候補として推薦された「帝国書院」は、コラムや特設ページ、資料などが充実しており、課題にそって物事を様々な観点から多面的・多角的に考察することができるようになっていました。以上、社会・地理的分野についての報告です。

それでは、社会・地理的分野について審議を行います。ご意見をお願いいたします。

大矢委員	<p>社会について、地理・歴史・公民それぞれの教科書に、教育出版・東京書籍・帝国書院・日本文教出版が出されています。4者の教科書とも完成度が高く、選ぶのが大変でした。各者それぞれ導入も工夫を凝らしていますし、毎時間の学習課題が明確で、それをきちんと習得できるようになっており、とても良かったです。そのなかでも、私は帝国書院が良いと感じました。その理由として、選定委員会による推薦もありますし、毎時間学ぶページの左上に大きな迫力ある写真が載っていることで、生徒が今日何を勉強するのかイメージをつかみやすいのではないかと思います。また、帝国書院は地図を作成されていることもあり、気候や地形に関する記述は他者よりも詳しく記載されていたので、帝国書院が良いと思います</p>
福元教育長職務 代理者	<p>私も帝国書院が良いと思います。領土問題については、記載が少ないと思いましたが、未来に向けて共生をしていくというSDGsについて、どんなふうに社会を作っていくかという子どもたちが深く考えられるような教科書になっているので、帝国書院が良いと思います。</p>
坂井委員	<p>私も帝国書院が良いと思います。写真や資料が充実し、SDGsに関するコラムも豊富にあり、単元の終末の見開き1ページずつに復習問題もあって、子どもたちが学習の振り返りをしやすい教科書となっている帝国書院が良いと思います。</p>
西川委員	<p>私も帝国書院が良いと思います。4者とも良いところがあり、なかでも選定委員会を選んだ帝国書院と東京書籍を比較したとき、例えばキリスト教では、プロテスタント、カトリック、正教会について、またイスラム教についても説明があります。また、アメリカについては、ネイティブアメリカン、オセアニアの多様性アボリジニとかマオリ、南アフリカはアパルトヘイトについてもしっかりと説明がありました。SDGsについても、フェアトレードに関して触れられており、説明がより丁寧である帝国書院が良いと思います。</p>
教育長	<p>私も皆さんと同じ理由から帝国書院が良いと思います。 全員一致で帝国書院を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>

全委員

異議なし。

教育長

異議なしとのことですので、社会・地理的分野は「帝国書院」といたします。

それでは、次に社会の歴史的分野に移ります。

社会・歴史的分野については、東京書籍・教育出版・帝国書院・山川出版社・日本文教出版・育鵬社・学び舎の7者から見本本が届きました。どの者も社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、よりよい社会の実現に向け、我が国と世界の歴史的事象を多面的・多角的に考察することや、深く理解するための工夫がございました。

各者の特徴について、「東京書籍」は、興味・関心を喚起する導入資料があり、「学習課題」でめあてが示され、「チェック&トライ」で学習内容の整理をすることができるようになっていました。

「教育出版」は、コラム「歴史の窓」や特設ページが充実しており、本文とは異なる視点から歴史をとらえなおすことができる工夫がありました。

「山川出版社」は、情報が豊富に掲載されており、多くの貴重な史料等は専門書と比較しても十分ではないかと思えるぐらい掲載されており、生徒の歴史的興味や関心を引くものでした。

「育鵬社」は、様々なコラムや特集を通して、日本の伝統や文化を丁寧にそれぞれの歴史の中で取り扱っていました。

「学び舎」は、表題が工夫されるなど単元の導入の仕方が他者とは異なり、生徒に考えさせることができる構成となっていました。

選定委員会から候補として推薦された「帝国書院」は、節の冒頭に大きなイラストから各時代を概観する「タイムトラベル」のページが設けられており、イラストで時代のイメージを視覚的に捉えることができるようになっていました。

同じく候補として推薦された「日本文教出版」は、サイズの大きな写真やイラストが豊富に掲載されており、歴史の楽しさや面白さを体験し、興味・関心を高めることができるよう工夫されていました。

以上、歴史的分野についての報告です。

それでは、歴史的分野について審議を行います。ご意見をお願いいたします。

西川委員

大変悩みましたが、特に帝国書院と日本文教出版を比較するなかで、帝国書院は、タイムトラベルのところでその時代をどのように学んでいくのか、どんな時代なのか分かりやすく示されていました。一方で、日本文教出版は資料が写真や実際の図版絵で示されており、歴史を学ぶうえで、イラストよりも写真からわかる事実について考えることが大事でありますので、日本文教出版が良いと思います。

坂井委員

帝国書院か日本文教出版かで迷いました。どちらも教科書の右端に各ページの年表が載っており、今どの時代を学んでいるか分かりやすいと思いました。両者を比較するなかで、帝国書院は、タイムトラベルで、その時代の暮らしや風景が描かれており、学習のイメージがしやすく、環境や平和、人権に関するコラムも充実していました。

日本文教出版は導入に地図で見る世界の動きやその時代の年表もあり、写真の資料も大きく、インパクトがありました。あと、各時代の女性の姿を紹介しているコラムで、最後の「現代の女性」というところのコラムでは、男女共同参画社会の実現に向けてという内容で男女平等について考えて、公民分野にもつながると思いました。

どちらも良かったですが、日本文教出版が章の導入が丁寧であり、生徒が深く考えて活用できる課題例が多かったのも、最終的に日本文教出版が良いと思います。

福元職務代理者

どの教科書も非常に詳しく書かれていますが、子どもにとって少し難しいのではないかなというような教科書もありました。そこで、歴史の授業で先生がどのような教え方をするかという視点で見たとき、日本文教出版は、子どもたちが歴史を学ぶときの全体像を大きくつかむ歴史年表が一番充実していました。また、写真も多く使われており、子どもたちが自学自習をするときにも非常に見やすい教科書であると思いますので、日本文教出版が良いと思います。

大矢委員

多くの出版社から教科書を出されており、学び舎と山川出版社は特に文章で表現をしていました。歴史の流れが分かって良いですが、教科書を読んで、文章の中からキーワードを拾い出して関係を

自分でまとめる必要があるので、授業で発表形式をとる場合には有効な教科書であると感じました。

教育出版・東京書籍・帝国書院・日本文教出版の4者は内容が拮抗していました。選定委員会には推薦されておりましたが、東京書籍は日本文教出版と共通点があつて、古代・中世・近世と各章に導入があつて、そこで探求課題、めあてが明確になっています。その後、章の最後にまとめて同じ課題がまた入って、問い直して改めてそれを習得するように仕組みがしっかりしていると感じたのはその2者でした。

帝国書院は、この時代はこんなふうだったというイメージが子どもたちに伝わりやすく面白いと感じました。

東京書籍は、まとめに図やチャートを使って、思考整理をしているところが非常に面白いと思います。

日本文教出版は自分の言葉でまとめようというこだわりがあることが好ましかったです。

私としてはどちらも良いかと迷っているところではあります。どちらかと言えば、選定委員会が推薦する日本文教出版が良いと思います。

教育長

私も日本文教出版が良いと思いました。本当にどの教科書も特徴を持って作っていただいています。私は領土問題、それから拉致問題についての取り扱いに注目しておりました。どちらも社会の地理や公民でも取り扱っていますが、歴史では賠償問題等に言及していました。また、拉致問題についても、本文には記載がないですが、別途詳述しているという部分で日本文教出版が良いと思います。

全員一致で、日本文教出版を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。

教育委員

異議なし。

教育長

異議なしとのことですので、社会・歴史的分野は「日本文教出版」といたします。

それでは、次に社会の公民的分野に移ります。

社会の公民的分野につきましては、東京書籍・教育出版・帝国書院・日本文教出版・自由社・育鵬社の6者から見本本が届きました。

どの者も現代社会の見方・考え方を働かせ、国際社会に主体的に生き、平和で民主的な国家及び社会を形成する公民としての資質・能力の基礎を育成するための工夫がありました。

各者の特徴としましては、まず「東京書籍」は、見開きの最初に生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」が掲載されていました。

「帝国書院」は、「アクティブ公民」において、実生活で起こり得る問題に対して様々な立場から考察できる工夫がなされていました。

「自由社」は、重要語句について、「ミニ知識」のコラムで解説されており、公民に関わる重要な言葉を理解することができる工夫がありました。

「育鵬社」は、社会的事象を自分事として考えるため、各章の導入と章末に「学習の入り口・これから」が設けられていました。

選定委員会から候補として推薦された「教育出版」は、「持続可能な社会」の担い手として、課題解決に取り組むことを全体のテーマとしており、SDGsをはじめとした社会全体の課題を自分事として考え、学習を進めることができる工夫がありました。

同じく候補として推薦された「日本文教出版」は、見開きのはじめにある資料や「学習課題」により、社会との関わりの深い課題を解決する学習展開を行うことができるようになっていました。

以上、公民的分野についての報告です。

それでは公民的分野について審議を行います。ご意見をお願いいたします。

福元職務代理者

公民は、子どもたちがどのように関わり社会を生きていくかというようなことがメインになると思います。その中で私が少し注目しましたのは、必ず将来的に関わるであろう裁判員制度についてです。実際にはさまざまな問題も言われておりますが、公民という教科のなかで子どもたちにきちんと教える必要があると思います。そのなかで、裁判員裁判、裁判員制度をシミュレーションで、一番多くのページを割いて、具体的に示されていて子どもたちにも非常に分かりやすいのではないかなと感じた教科書が日本文教出版でありましたので、私は日本文教出版が良いと思います。

西川委員

公民も非常に多く、選ぶのが大変で悩みました。私が注目したのは憲法で、まず憲法とは何かから記載されているのが3者あり、そのうち2者が選定委員会で選ばれているということで、2者に絞りました。さらに2者のうち、特にSDGsをしっかりと扱われているのは教育出版なのではないかと思いました。

また、メディアリテラシーについて、新聞以外のソーシャルメディアについてもしっかりと記載されていました。もうひとつ言いますと、一番最後の索引で、ASEAN、SDGs等の用語の欧文省略を別で表記しており、子どもたちが索引を見た時に用語が分かりやすく丁寧だと感じましたので、教育出版が良いと思います。

大矢委員

公民の教科書はどれも本当に良かったと思います。そのなかで、選定委員会が候補として挙げた教育出版と日本文教出版の2つを比べると、アクティビティが多くある日本文教出版が良いと思いました。まず自分の身近な例で考えたり、こういうことを考えてみようということが詳しく書いてありました。公民は社会の分野の中でも私たちに関わりがあり、しっかり習得してほしいものでありますので、アクティビティで自分で考える力をつけられる日本文教出版が良いと思います。

坂井委員

私も日本文教出版は、アクティビティが多く生徒が考えてできることがあって良いと思いました。教育出版は人権や差別、LGBT等についても詳しく記載されており、コラムも充実していました。また、「障がいのある人と共に働く」というところは、摂津市のダイキンサンライズの写真も掲載されている点も評価できることから、私は教育出版が良いと思います。

教育長

どの教科書も良く大変悩みましたが、主権者教育における18歳の選挙権やLGBTの問題についてしっかり取り上げられている教育出版が良いと思います。

意見が分かれてましたが、教育出版3名、日本文教出版が2名ということですので、社会・公民的分野は教育出版を採択したいと思います。よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

異議なしとのことですので、社会・公民的分野は「教育出版」といたします。

それでは、次に社会の地図に移ります。

社会・地図は、東京書籍・帝国書院の2者から見本本が届きました。2者とも基本となる地図と資料が社会科の学習内容と関連付けながら活用できるよう工夫されていました。

各者の特徴については、「東京書籍」は、テーマごとに丁寧に索引が作られており、資料も豊富で活用しやすくなっていました。

選定委員会から候補として推薦された「帝国書院」は、教科書がA4判になっており、大きくダイナミックな紙面で見やすく、地域的特色を体感し、概略がつかみやすくなっていました。

以上、社会・地図についての報告です。

それでは、社会・地図についての審議を行います。ご意見をお願いいたします。

坂井委員

東京書籍は資料が多くて良いと思いましたが、帝国書院は教科書が大きくて地図が見やすいと思えました。また、日本の地図のページのところでは、防災がテーマの資料も多くあったので、私は帝国書院が良いと思います。

福元職務代理者

私も帝国書院が良いと思います。資料や地図の内容は2者とも遜色ないと思いますが、A4判で教科書が大きく地図も大きい。そのため、文字と文字の間が広く、教科書を開いたときに非常に見やすい地図になっています。そのような点が評価できることから、帝国書院が良いと思います。

大矢委員

私も帝国書院が良いと思います。教科書が大きいということは見やすいと思います。ただし、机の上に置きにくいことも考えられますが、調査員からそのような意見が出ていないということもふまえて、帝国書院が良いと思います。

西川委員

教科書が大きく見やすいという点と世界地図でヨーロッパを斜めにして、地形と人々の生活・文化も含めて見開きで図示しているページがあり、非常に分かりやすいと思えました。地形と人々の生活がまさに結びついていることが一目で分かるという点が評価で

き、帝国書院が良いと思います。

教育長

私も帝国書院が良いと思います。その理由として、今の地図帳は地図だけではなく、様々な資料が入っている一種の資料集的な位置づけでもあると思います。2者を比較すると、近畿地方関連の資料のページが、東京書籍は8ページであるのに対して、帝国書院が10ページ。中部地方関連が、東京書籍が8ページであるの対して、帝国書院が12ページにわたって取り上げられています。

東京書籍は、ページ数が少ない分、1つのページに多くの情報が書き込まれており、地図が見にくいと感じました。資料集という位置づけからしても相応しい帝国書院が良いと思います。

全員一致で、帝国書院を採択したいと思いますがよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

異議なしとのことですので、社会・地図は「帝国書院」といたします。

それでは、次に数学に移ります。

数学については、東京書籍・大日本図書・学校図書・教育出版・啓林館・数研出版・日本文教出版の7者から見本本が届きました。

どの者も数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の育成のための工夫がなされていました。

「東京書籍」では、導入部分の「考えてみよう」を活用して、学習した内容をいかして身近な課題を解決したり、内容を深めたりすることができるなど数学と生活が結びつくよう工夫されていました。

「大日本図書」では、単元ごとにめあてが設定されており、何について学ぶかを生徒が把握しやすくなっていました。

「教育出版」は、新しい学習に入る際に、学習のねらいが文章で示されており、見通しを持って学習に取り組むことができるようになっていました。

「数研出版」は、数学の基本的な内容を学びながら数学を活用する力をつける本冊と学んだ力を活用して探究的・総合的な課題に取

り組む別冊で構成されていました。

「日本文教出版」は、表や図が多用されており、手順などのイメージを持ちやすく、理解しやすい工夫がありました。

選定委員会から候補として推薦された「学校図書」は、目標の前の問いを活用し、生徒同士が対話から目標を見だし、問題を解決する意欲を持つことができるようになっていました。

同じく、候補として推薦された「啓林館」は、「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」の2部構成となっており、学校での学習と授業外での学習の両方で必要に応じて活用できるようになっていました。

以上、数学についての報告です。

それでは数学について審議を行います。ご意見をお願いいたします。

西川委員

まず事務局に質問があります。数研出版にて、別冊でノートが1冊ありましたが、この件について選定委員会でどのような議論をされたのか教えていただけますか。

教育支援課長

数学について別冊があったのは、数研出版の1者のみでございます。選定委員会では、別冊の有無というよりも、教科書の内容について、例えば課題設定であるとか、数学的活動の内容等について比較及び検討し、議論をされたところでございます。

西川委員

ありがとうございます。

教科書の本体の内容の良さで判断し、学校図書を推薦されたということですね。

学校訪問で授業の様子を拝見するなかで、子どもたちがホワイトボードを持って、話し合う場面が多く見受けられました。選定委員会が推薦する学校図書では、巻末にホワイトボードがあり、実際の授業でもうまく活用できるのではないかと思いますので、学校図書が良いと思います。

大矢委員

数学も7者出ていまして、読み比べるとどの者も記載に工夫がありました。以前は、証明問題で解き方が淡々と黒字で書いてある教科書もありましたが、今はどの教科書も証明問題の仕組みや考え方

について、矢印やイラスト、子どもの吹き出しを付ける等、丁寧に説明されていました。また、大切なポイントは目立つように枠で囲んだり色を付けたり、多くの工夫が見られました。

なかでも選定委員会から推薦された学校図書と啓林館を見比べてみると、啓林館は教科書のつくりや説明が簡素でした。一方、学校図書は、キャラクターが問いかけて気づきを促したり、説明する等の工夫がありました。また、調査員からは、問題がスモールステップで子どもたちに分かりやすいのではないかという報告がありましたので、学校図書が良いと思います。

坂井委員

私も学校図書が良いと思います。目標の前にクエスチョンがあり、生徒の会話で毎回ヒントや疑問、見方・考え方が記載され、子どもたちが勉強するなかで、解決に向けての目安になると考えられます。また、各章の中に数学的活動や、巻末にSDGsに関する記載やホワイトボードもあり、さまざまな活用ができますので、学校図書が良いと思います。

福元教育長職務
代理者

どの教科書も工夫されておりますが、大矢委員のご意見にもあったスモールステップから少しずつ課題に取り組んでいく、課題解決型の授業や学習をするときに適する教科書であると思いますので、学校図書が良いと思います。

教育長

中学生では、数学の問題ではやはり立体、空間図形は子どもたちの理解もそうですが、教える側も難しいと思います。特に教える側は、黒板という平面、2次元の世界で立体を教えるというのは非常に難しいと思います。その視点で各者を比較したところ、例えば立体の展開図が後ろに付録で付いており、それを切って自分で作ってみるところでは、者によってはご丁寧にのりしろまであり、作ってみようという興味を持たせる工夫をされていました。他には、啓林館はQRコードで立体の様子をアニメーションで示していました。とりわけ、ねじれという位置関係がアニメーションで載っていたのは啓林館のみだったと思います。ねじれという位置関係を子どもたちに説明するには、啓林館が良いと思いました。しかし、皆様のご意見のとおり全体的にみると学校図書が良いと思いますので、私も学校図書が良いと思います。

それでは、全員一致で学校図書を採択したいと思いますがよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

異議なしとのことですので、数学は「学校図書」といたします。それでは、次に理科に移ります。

理科については、東京書籍・大日本図書・学校図書・教育出版・啓林館の5者の見本本が届きました。5者すべてに理科の見方・考え方を働かせ、自然の事物・事象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するための工夫がありました。

各者を見てみると、「東京書籍」は、教科書の大きさがA4スリム判となり、実験の手順が縦に並べられ分かりやすく、また、随所に科学に関する本の紹介がありました。

「大日本図書」は、写真やイラストが多用されており、分かりやすく、丁寧な資料と併せて生徒の興味・関心を高める工夫がありました。

「学校図書」は、実験等での危険個所について、その場所に赤でストップと記載されるなど、安全面について分かりやすくなりました。

選定委員会から候補として推薦された「教育出版」は、学習課題が端的で分かりやすく、課題解決のための計画をどのように立てればよいのかが分かりやすい工夫がありました。

同じく、候補として推薦された「啓林館」は、単元導入や章の導入などの際に生徒の好奇心に働きかける写真や資料が多く、身のまわりの不思議から考えることができ、また、主体的に課題を見出すことができるよう工夫されていました。

報告は以上となります。

それでは理科について審議を行います。ご意見をお願いいたします。

大矢委員

私は啓林館が良いと思います。各者とも工夫がされており、例えば、惑星が書いてあるところを見比べると、どこも遜色なく素晴らしい写真が載っていました。次に、実験のところを見ますと、啓林館は2年生のベーキングパウダーを使って、加熱時に物質が変化す

るという実験がとても分かりやすかったです。ホットケーキの実験でどの物質が膨らましているのかというところから、ベーキングパウダーを入れて加熱をすることによって物質が変化する。そこまで丁寧に書いてあるのは啓林館だけでした。化学変化は熱を加えるということをきちんと書くのは大切なポイントだと思います。また、実験の注意書きも分かりやすく記載されていたので、啓林館が良いと思います。

西川委員

私も啓林館が良いと思います。学校図書は危険箇所について、赤でストップが書いてあるということでしたが、啓林館もポイントごとに記載がされていました。また、マグマの実験では、私もどのようになるのか実際に見たことはないですが、火山列島の中の日本に住む私たちが研究するという視点も面白いと感じましたので、啓林館が良いと思います。

坂井委員

啓林館の教科書を初めて見たときに、写真が綺麗で印象的であり、図鑑を見ているようで思わず見入ってしまいました。その点で子どもたちが興味を持ちやすい教科書だと思います。また、「考えてみよう」「話し合ってみよう」「活用してみよう」などの表示が多く、生徒が主体的に学習に取り組む工夫もあり、あと、巻末の探求シートも活用しやすいものと感じましたので、啓林館が良いと思います。

福元職務代理人

私は、理科という教科は「なぜかな。不思議だな。」という子どもたちの素朴な疑問から始まる教科だと思います。そのときに疑問にうまく答えてくれる教科書を選ぶとしたときに、非常に丁寧に、興味を外さずに記載されているのが啓林館だと思いますので、啓林館が良いと思います。

教育長

昨年の小学校理科の採択時にも意見として発言しましたが、職務代理人と同様に理科は子どもたちの不思議から始まる教科だと思っております。教科書の中だけで勉強するのでは、なかなか子どもたちは興味を持たないと思います。やはり学習のはじめの部分から、今実際にある不思議なことから入ることが大事だと感じており、なかでも啓林館はそのようなつくりになっています。

あと元素の周期表について、啓林館だけ周期表にそれぞれの元素の単体が写真で載っている点が面白く、元素の結びつきがイメージしやすいのではないかと思います。電流と電圧の関係を説明するのはどの者もポンプと水車と水量で説明している等工夫されていましたが、私は啓林館が良いと思います。

それでは、全員一致で啓林館を採択したいと思いますがよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

異議なしとのことですので、理科は「啓林館」といたします。1点だけ各者にお伝えしたいことがあります。食べ物で「栄養分」を「養分」と記載する教科書が3者ほどあったと思います。今は違いが無くなってきたのかなと思いますが、教科書によって表現が異なるのもどうなのか、特にテストの時にどのように採点されるのかと思いました。どちらも許されるのであれば良いですが、各者比較するなかで感じましたので、お伝えいたします。

それでは、次に音楽・一般に移ります。

音楽の一般は、教育出版・教育芸術社の2者から見本本が届きました。どちらも表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫がありました。

「教育出版」は、同じ作曲者の曲や主要教材と比較聴取できる楽曲が前後に配されていましたが、曲と作曲者の紹介が同一ページにないため、ページを前後しながら授業を進める必要がありました。

選定委員会から候補として推薦された「教育芸術社」は、歌詞に出てくる植物や背景などの写真やイラスト等が多く掲載されており、情景を思い起こしながら歌えるよう工夫されていました。

以上、音楽・一般の報告となります。

それでは音楽・一般について審議を行います。ご意見をお願いいたします。

坂井委員

私は教育芸術社が良いと思います。教育芸術社は、西洋音楽や和楽以外のロック、ジャズなどポピュラーな音楽の説明や、そのジャンルのつながりの図もあり、代表するアーティストの紹介や音源も

用意されていました。これをきっかけに多くのジャンルにも触れて音楽の世界も広がると思いました。また、世界の様々な音楽や楽器も紹介されており、その国の文化などの興味を持つきっかけにもなりますので、教育芸術社が良いと思います。

西川委員

曲の近くに作者の紹介があり、この曲を作った人がこんな人だったというのが分かりやすいので、私も教育芸術社が良いと思います。

福元職務代理者

国歌「君が代」で比較すると、両者とも後ろの見開きにあり、大変見やすいところに入っていて良いと思いました。しかし、教育芸術社は国際儀礼、さざれ石などの写真が載っており、子どもたちが君が代という言葉聞いたときに、思い浮かぶのはオリンピック等で国際儀礼の場でどう扱っているかが分かりやすく、教育芸術社が良いと思いました。

大矢委員

どちらも素晴らしい教科書でしたが、坂井委員と同じく様々な世界の音楽が入っていることも大切であると思えます。両者を比較すると、教育芸術社は1年生の教科書の初めにある歌い方の姿勢が分かりやすかったです。またラヴェルのボレロという曲では、どのパートをどんな楽器が使っているかというのを考えてみるというところで、教育出版は楽器の名前のみ記載され、写真は巻末にありました。教育芸術社は全てイラストで描いており、チェレスタという珍しい楽器も取り扱っています。このようにより詳しくて丁寧で分かりやすい説明をしている教育芸術社が良いと思います。

教育長

私も皆さんと同じ理由から教育芸術社が良いと思います。
それでは、全員一致で教育芸術社を採択したいと思いますよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

異議なしとのことですので、音楽・一般は「教育芸術社」といたします。
それでは次に、音楽・器楽に移ります。

音楽・器楽も、教育出版と教育芸術社の2者から見本本が届きました。2者ともに器楽表現に関わる知識や技能を身に付け、生かしながら、器楽表現を創意工夫するための配慮がありました。

「教育芸術社」は、さまざまな楽器が丁寧に取り上げられており、各楽器の特徴や基本的な奏法がわかりやすく示されていました。

選定委員会から候補として推薦された「教育出版」は、巻末のギターコード表等、掲載されている写真やイラストが大変わかりやすく、楽譜と文章のバランスも考えられていました。

以上、音楽・器楽の報告となります。

それでは音楽・器楽について審議を行います。ご意見をお願いいたします。

坂井委員

器楽は両者工夫されており、それぞれ良い所があって選ぶのが難しかったです。そこでQRコードで読み取る動画を見比べたところ、教育芸術社は演奏者の紹介のみの動画でしたが、教育出版は曲の模範演奏やギター奏法の説明動画などがありました。楽器を演奏するときは、楽譜を見るだけでなく、音を聴いたり、演奏している姿を見るというのがすごく大事だと思いますので、教育出版が良いと思います。

福元職務代理者

私も楽器は、実際に演奏している場面を見たり、耳で聴くというのが非常に大きなことだと思いますので、教育出版が良いと思います。

西川委員

私も演奏している姿と音が一致して分かることや、巻末のギターのコード表が手首まで写っており、指だけでなく手首をどのように動かすのかということも大事であると思いますので、教育出版が良いと思います。

大矢委員

私も教育出版が良いと思います。実際に中学校でどんな楽器を使用するのか聞いたことがあり、ギターや箏ということでした。特にギターは人気があるということですので、コード表やギターを弾く姿が掲載されているのはとても分かりやすいと思いますので、教育出版が良いと思います。

教育長	私も皆さんと同じ意見で教育出版が良いと思います。それでは、全員一致で教育出版を採択したいと思いますよろしくお願いしますか。
全委員	異議なし。
教育長	<p>異議なしとのことですので、音楽・器楽は「教育出版」といたします。</p> <p>それでは次に美術に移ります。</p> <p>美術は、開隆堂・光村図書・日本文教出版の3者から見本本が届きました。3者とも表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫がありました。</p> <p>各者の特徴について、「開隆堂」は、作品が多数掲載されていましたが、いくつかの写真で画像が粗く、画面が暗く見えてしまう作品がありました。</p> <p>「光村図書」は、トレーシングペーパーがあり、遠近法の消失点を探すための書き込みができたり、題材により紙を変えて製本するなどの工夫がありました。</p> <p>選定委員会から候補として推薦された「日本文教出版」は、2、3年が上下に分かれており、ページ数が多い分、原寸大の鑑賞図版が多く掲載されており、より実物の作品鑑賞に近い体験をすることができるよう工夫されていました。</p> <p>以上、美術の報告となります。</p> <p>それでは美術について審議を行います。ご意見をお願いいたします。</p>
福元職務代理者	<p>日本文教出版は3冊でページ数が多く、本物の写真をたくさん載せることでダイナミックな作品鑑賞ができます。また、見開きの風神雷神図も大きく、それを折りたためるようになっており、自分の手で屏風絵を再現して見ることができるなど、非常に資料が豊富で鑑賞しやすい日本文教出版が良いと思います。</p>
大矢委員	私も日本文教出版が良いと思います。どの教科書も見ていて楽しくなるものでした。例えば、開隆堂は掲載されている生徒作品が良

く、またデザイナーのインタビューでは、どのようなデザインをしたかではなくて、デザインとはそもそも何なのかということまで書いてあるのは面白いと思いました。

3者を取り扱う芸術作品を比較すると、日本文教出版はQRコードを読み取るデジタルコンテンツで、美術館で実際にどんな風に見えるのかと体感できる点が魅力的でした。また、芸術作品と生徒作品の見せ方、教科書のレイアウトが作品の魅力をうまく引き出し、良いデザインで載せていた点が良いと思いますので、日本文教出版が良いと思います。

西川委員

迷いましたが、日本文教出版が良いと思います。光村図書もトレーシングペーパーに紙質を変える等の工夫がみられました。一方、日本文教出版はろうそくの炎で見えるとか、作品そのものではなく、どのような場や状況で作品を見るかということまで考えられている点が評価でき、日本文教出版が良いと思います。

坂井委員

私は光村図書と日本文教出版で悩みました。光村図書は作品の制作過程が書いており、作品を実際につくるときに活用できると思いました。また、印刷の紙質を変えたり、北斎とゴッホ、鳥獣人物戯画と漫画を組み合わせるなどの工夫がみられました。

日本文教出版は、北斎の神奈川冲浪裏ができるまでが載っていたり、サグラダファミリアでガウディ本人が手掛けた部分を載せるなど分かりやすいと思いました。また、QRコードの読み取りで屏風をろうそくの明かりで見るといった動画やアートのトリックなどの映像も大変興味深く、最終的に日本文教出版が良いと思います。

教育長

私も皆さんと同じ意見で日本文教出版が良いと思います。それでは、全員一致で日本文教出版を採択したいと思いますがよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

異議なしとのことですので、美術は「日本文教出版」といたします。

それでは次に保健体育に移ります。

保健体育は、東京書籍・大日本図書・大修館書店・学研教育みらいの4者の見本本が届きました。4者ともに体育や保健の見方・考え方を働かせ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するための工夫がありました。

「大日本図書」は、たばこ、酒、薬物を誘われた時の「断り方を練習しましょう」があり、イメージをしやすいが、LGBTについての記載はなく、震災の写真も生々しく、配慮に欠ける内容ではないかという意見がありました。

「大修館書店」は、マスクに関して、なぜ感染症対策のためにマスクをつけるのかなどについて言及するなど詳しく説明してありましたが、LGBTについての記載はありませんでした。

選定委員会から候補として推薦された「東京書籍」は、デジタルコンテンツが充実しており、学習内容に関する動画やシミュレーション、他教科の内容等、独自コンテンツが複数用意されていました。

同じく、候補として推薦された「学研教育みらい」は、LGBTについて、当事者の話を掲載するなど詳しく説明されており、飲酒や喫煙、薬物乱用などの記載も詳しくありました。また、各単元の冒頭にキーワードが明示されており、導入部分で本時の内容が具体的に分かる工夫がなされていました。

以上、保健体育の報告となります。それでは、ご意見をお願いいたします。

西川委員

私は学研が良いと思います。その理由として、LGBTに関する記載があり、性的指向や性自認など他者と比べると詳しく記載はされていると感じました。また、飲酒や喫煙、薬物等についても、具体的にどのように対応したら良いのかの記載があったり、ネット依存についてもチェック表があるなど、しっかりと活用できる教科書だと思いますので、学研が良いと思います。

坂井委員

中学生になるとSNSに関わるが増えると思いますが、学研はSNSの被害や、性情報への対処や相談する例が載っており、「心と体のSOS」ではパソコンやスマホを取り扱ったり、他にも薬物乱用やLGBTについても詳しく載っていましたので、学研が良いと思います。

福元職務代理者 今、中学生が直面している問題として、欲求不満やストレス、そこから派生してくる様々な問題行動があります。いじめや対教師暴力、生徒間暴力、器物破損なども子どもたちの欲求不満やストレスが原因であることが多いのではないかと思います。こうした状況に置かれている子どもたちが、どんな行動をとり、どう考えるのかということが一番詳しく、分かりやすく書かれていたのは学研だと思います。さらに、飲酒、喫煙、薬物乱用についても詳しく書かれていましたので、学研が良いと思います。

大矢委員 どの教科書も丁寧に書かれていて良かったですが、私は学研が良いと思います。以前は各者で取扱いに違いがあり、例えば、煙草を誘われたときの断り方が載っている、または載っていない、あるいは薬物の写真の有無とか、男女の体が生々しいとか生々しくないとか、違いが様々でしたが、今はどの教科書も非常に丁寧なつくりになっています。

その中で選定委員会が推薦する2者を見たとき、心肺蘇生法の所で、学研は人が倒れているときに「誰かお願いします。」ではなく、「あなたは救急車を呼んでください。」とか「あなたはこうしてください。」と指示が載っている点が良いと思いました。東京書籍のも同様の内容で、デジタルコンテンツに載っていました。

2者を比較するなかで、学研の学習では各項目に学習の目標で「課題をつかむ」と載っており、こんな時にあなたはどうしますか。どう考えますか。と自分事として引き寄せるアプローチがありました。保健体育は、日常生活で子どもたちに役に立つ学問なので、授業中だけでなく自分事として考える引き寄せのアプローチがある点が良いと思いますので、学研が良いと思います。

教育長 私も学研と東京書籍どちらも甲乙つけ難いと思いました。2者以外はインターネットの依存に関する記載が少し弱いと感じました。皆さんの意見を聞いて、私も学研が良いと思います。それでは、全員一致で学研を採択したいと思いますがよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

教育長 異議なしとのことですので、保健体育は「学研教育みらい」とい

たします。それでは次に技術・家庭の技術分野に移ります。

技術・家庭、技術分野は、東京書籍・教育図書・開隆堂出版の3者の見本本が届きました。どの者も技術の見方・考え方を働かせ、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力の育成のための工夫がありました。

各者の特徴について、「東京書籍」は、プログラミングについて一番多く記載してありました。巻末にプログラミングについての資料もありました。情報モラルについても詳しく記載されていました。

「開隆堂」は、プログラミングについては、本質的な理解を図るため、基礎・基本や基本的な操作の解説や問題解決まで取り組めるようになっていましたが、他者と比べて内容が少ないように感じました。

選定委員会から候補して推薦された「教育図書」は、教科書と別冊の2冊になっており、別冊ハンドブックは基礎・基本となる技術についてまとめられており、実習時に活用できる工夫がありました。プログラミングについても詳しく記載されていました。

以上、技術分野の報告となります。それでは、ご意見をお願いいたします。

大矢委員

どの教科書も丁寧に書いてありましたが、私は教育図書が良いと思います。ハンドブックが別冊でついており、道具の使い方が書いてあるだけでなく、QRコードを読み取ることで動画でも見ることができます。実際にどのように使うかが良く分かり、成功例・失敗例もあるのも良く、教育図書が良いと思います。

坂井委員

私も教育図書が良いと思います。別冊のハンドブックの使い勝手も良く、教科書の文字が大きく、写真やイラスト、重要な単語の字体や色を変えて書いてあるなど、安全や注意するポイントも分かりやすく示している点が良く、教育図書が良いと思います。

西川委員

技術・家庭の技術はいろいろな実習があると思いますが、そのときにハンドブックを有効に活用できる点が良いと思いますので、教育図書が良いと思います。

福元職務代理者	私も西川委員と同じく、技術の時間は実習時間が多く、ハンドブックが非常に便利だと思いますので、教育図書が良いと思います。
教育長	<p>プログラミングについてどのようにしっかり教えていくか、この点については教育図書と東京書籍で大差がなかったと思いますが、やはり別冊のハンドブックが良いと思いますので、教育図書が良いと思います。</p> <p>それでは、技術分野については全員一致で教育図書を採択したいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
教育長	<p>異議なしとのことですので、技術・家庭の技術分野は「教育図書」といたします。それでは次に技術・家庭の家庭分野に移ります。</p> <p>技術・家庭、家庭分野も、東京書籍・教育図書・開隆堂の3者から見本本が届きました。3者ともに、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し、創造する資質・能力を育むための配慮がありました。</p> <p>「教育図書」は、章の導入にテーマに沿った視覚資料が掲載されるなど、生徒の興味・関心を高めるような写真やイラストがありましたが、調理実習の工程の写真が縦二列で見づらい印象がありました。</p> <p>「開隆堂」は、子どもの成長や発達に関連した記載が多くありました。また、日常生活の中から問題を見だし、課題を設定することができるようヒントが提示されていました。</p> <p>選定委員会から候補として推薦された「東京書籍」は、他者とは異なり、食領域が巻頭にありました。また、実習例が多様で、数多く取り上げられており、学校や生徒の実態に応じた実践的・体験的な学習活動を行うことができるよう工夫されていました。</p> <p>以上、家庭分野についての報告となります。それでは、ご意見をお願いいたします。</p>
坂井委員	調理のページで、東京書籍と開隆堂は主菜の他に副菜の手順も載っていました。さらに東京書籍は、包丁の持ち方、縫い方で左利きの人が使う説明や写真とイラストの両方を使っており、スナップ付

けも失敗例があり説明も丁寧だと思います。また、巻末に防災ハンドブックがあり、役立つと思いますので、私は東京書籍が良いと思います。

大矢委員

私は教育図書が良いと思います。選定委員会から推薦されていませんが、子どもの成長、子どもの関わり方についての記載が大変多いところが評価できます。さらに、デジタルコンテンツが豊富で、どんなふうに関わるかを見て学ぶことができます。今の世の中虐待の問題も多く、虐待を防止するには、子どもがどのように成長するか、どう関わるのかという親学習が大切だと思います。社会の急激な変化により、自分が育てられたように育てたら良いというのも通じなくなってきました。子どもが中学生の時から親学習ができれば良いと思います。また、虐待の通報についても詳しく載っています。決して東京書籍が劣るということはないと思いますが、社会問題を考えた時に教育図書が良いと思います。

西川委員

私は東京書籍が良いと思います。理由の一つには、消費生活のところで生産・流通・消費・廃棄を一緒に、循環という大きな俯瞰図があり、それが世界でどうつながるのか、エシカルの問題とかフェアトレードに繋がるような記載もあり、消費者としてサステナブル、SDGsの観点から見るということが大事であると思いますので、東京書籍が良いと思います。

福元職務代理者

私は消費者の立場で、消費者のトラブルについて、カードの問題、悪徳商法の対処など日常起こりうることに對してどのように対応するのか非常に詳しく書かれていた東京書籍が良いと思います。

教育長

大矢委員のご意見は大切な指摘であり、きちんと子どもたちに親になることについて教えていかなければならないと思います。大阪府内の高等学校では親学習的な取組みを始めておりますので、大事な視点であると思います。しかし、全体としては私も実践的・体験的な学習活動を行うことができるよう工夫されている東京書籍が良いと思います。

意見が分かれておりますが、東京書籍が4名、教育図書が1名ということですので、家庭分野は東京書籍を採択したいと思います

が、よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

異議なしとのことですので、技術・家庭の家庭分野は「東京書籍」といたします。それでは次に英語に移ります。

英語は、東京書籍・開隆堂・三省堂・教育出版・光村図書・啓林館の6者から見本本が届きました。どの者も外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫がありました。

各者の特徴について、「東京書籍」は、教科書サイズがA4判で、生徒の理解を助けるイラストや写真、図などの視覚教材が豊富に掲載されていました。

「開隆堂」は、Retell（再話）が各単元で設定されており、教科書本文の内容を自分の英語でその内容を知らない人に伝えることにより、内容理解が深まり、表現力も身に付けることができるようになっていました。

「三省堂」は、新出文法事項を使った応用的な問題が重視されており、3年では、長文が多く、生徒が興味・関心を高めて取り組むことが難しいのではないかという意見がありました。

「教育出版」は、防災に関する教材が掲載されておらず、今日的な課題に沿っていないのではないかという意見がありました。

選定委員会から候補として推薦された「光村図書」は、登場人物の身近な出来事で3年間が進んでいくという展開になっており、生徒にとって身近な題材で興味・関心を高め、自分自身について話したり、書いたりする際に活用できる語彙や表現を身に付けることができるようになっていました。

同じく、選定委員会から候補として推薦された「啓林館」は、本文の場面設定が新出文法を使う必然性のある内容となっており、読み進め、考え、表現することで文法を身に付けていく工夫がありました。

以上、英語についての報告となります。それでは、ご意見を願います。

福元職務代理者	<p>私は光村図書と啓林館で迷いました。光村図書は4人の登場人物が3年間いろいろなことを体験し、考えたり、話し合いながら進めていくような教材になっていて、新しい取り組み方であると思いました。一方で、啓林館では文法を身につける工夫が多くみられました。中学3年の高校入試を見据えたときに、啓林館の方が文法や文の構造が教科書の中に載っているのので、私は啓林館が良いと思います。</p>
大矢委員	<p>私は光村図書が良いと思います。日本では、英語は単にツールだと思うのか、文化を学ぶのかといった英語教育の考え方が定まっていないと思います。そのなかで、各教科書を比較したときに、昨年小学校で採択した東京書籍は、冒頭が小学校の既習事項の確認から始まるので、英語が苦手な子どもが教科書を見たときにどうなのかと思いました。</p> <p>次に、選定委員会が推薦する啓林館と光村図書の教科書を見ると、啓林館はすごく分かりやすいけれども、英語の文章が少なく感じました。英語を学ぶには多くの文章のインプットが必要だと思います。光村図書は、身近な話題で興味を持ちやすい作りになっており、そのなかで英語を使ってみるというのも良いと思いました。イラストも人物がとてもやさしい色を使用しており、写真や文章を邪魔しないようなつくりになっている点も良いことから、光村図書が良いと思います。</p>
西川委員	<p>事務局に質問ですが、先ほど教育長の説明で、光村図書では登場人物の身近な出来事で3年間が進んでいく、だから1年生で出てきた子どもたちが、2年生、3年生になって、その子どもたちの会話やコミュニケーションの中で英語の学習が進んでいくというような進め方について、選定委員会でどのような議論があったのか教えてください。</p>
教育支援課長	<p>中学校外国語の目標としては、小学校からの日常的な話題に関するコミュニケーションに加えて、社会的な話題についての事実、自分の意見、気持ちなどを相手に伝えるということが求められます。そうしたことから、英語の教科書でも環境問題や平和、人権など様々な話題が取り扱われております。そのなかでも、光村図書の特</p>

徴は、4人の中学生の成長物語を通して、海外旅行での経験や、広島への修学旅行を通して平和を考えるなど、生徒にとって身近な話題について英語でやり取りすることの良さを感じさせる工夫があるという意見が選定委員会で出ました。

西川委員

私も子どもたちにとって身近な話題に興味を持ちやすいと思う一方で、社会的な問題、子どもたちが生きていく世界、例えばインターネットやテレビなどいろいろなものに繋がった世界であり、必ずしも4人とか限られた世界の中で生きているわけではない。もっと多く子どもたちと生きていると思います。身近ではありますが、世界が限られてしまうという部分は私が懸念する点です。

そこで、やるべき学習の中身の焦点が明確であり、この時間は何をするというのがはっきりしているという点が評価できることから、啓林館が良いと思います。

坂井委員

光村図書の内容は学校生活に沿っており、適度に平和や環境、AIなどのテーマに踏み込んで、3年間を通じて登場人物と成長できて英語の勉強に入りやすいかなと思いました。1年生の始めの小学校の振り返りも丁寧で、本文も見開き2ページで聞く・話す・読む・書くということがまとまっており、分かりやすいと思いましたので、私は光村図書が良いと思います。

教育長

光村図書の今回の新しい試みをどう評価するかが焦点だと思います。私は良いように評価しております。その理由として英語は言語ですので、自分で話したいとか使いたい、そのような思いが必要だと思います。身近な話題で子どもたちがイメージしやすいような進め方は効果的であると思いました。

また、選定委員会からも光村図書が候補として挙げられているということは、摂津市の英語の先生方がそのような観点で評価されていると考えます。新しい取り組みではありますが、私は光村図書が良いと思います。

意見が分かれておりますが、光村図書が3名、啓林館が2名ということですので、英語は光村図書を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

異議なしとのことですので、英語は「光村図書」といたします。それでは次に特別の教科道徳に移ります。

特別の教科道徳は、東京書籍・教育出版・光村図書・日本文教出版・学研教育みらい・廣済堂あかつき・日本教科書の7者から見本本が届きました。どの者もよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるための工夫がありました。

各者の特徴について、「東京書籍」は、教材の冒頭に主題となるテーマが示されており、見通しを持ちながら考えることができるようになっていました。

「教育出版」は、教材後の「学びの道しるべ」では、生徒が考え、話し合うための視点が参考として示されており、考えを深めることができるようになっていました。

「学研教育みらい」は、教材前に主題を示さないことで特定の価値観を押しつけず、生徒自らの気付きや考えを促す工夫がなされていました。

「廣済堂あかつき」は、別冊道徳ノートがあり、毎時間の学習状況を記録できるだけでなく、補助教材も掲載されており、幅広く考えることができるが、内容が多いのではないかという意見がありました。

「日本教科書」は、教材が、内容項目の順に掲載されており、各校の実状に応じて順番を入れ替えて計画を立て、授業を進めることができるようになっていました。

選定委員会から候補として推薦された「光村図書」は、発問が複数あり、また、「見方を変えて」を補助発問として活用することもでき、生徒が多面的・多角的に考えることができるようになっていました。

同じく、選定委員会から候補として推薦された「日本文教出版」は、教材冒頭に内容項目と主題を想起させるキーワードと登場人物の紹介があり、生徒が見通しを持ちながら考えることができるよう工夫されていました。

以上、特別の教科道徳についての報告となります。それでは、ご意見をお願いします。

大矢委員

私は日本文教出版が良いと思います。教材のあとにプラットフォームというコーナーがあり、アンガーマネジメントなど役に立つスキルが掲載されております。光村図書にもありますが、イラストを使って生徒により分かりやすいと思いましたので、日本文教出版が良いと思います。

福元職務代理者

日本文教出版と光村図書で考えるなかで、光村図書は先生の考え方で進めていき、子どもたちが自由に考える、ゼロベースから考えるタイプの教科書ではないと思いました。一方、日本文教出版は冒頭にめあてや課題、見通しが示されている。これは、どの先生も同じように授業を進めることができる。つまり摂津市内の道徳を教える先生は皆同じ目標、同じ課題設定で進めることができる。学校間格差や先生による内容の格差を是正できると思いますので、日本文教出版が良いと思います。

坂井委員

いじめや情報モラルについて各教科書を読んだところ、日本文教出版は、本文とプラットフォームのコーナーで多く取り上げられていました。「様々な性」の説明も日本文教出版が良いと思いました。光村図書は多様性や国際理解、多文化共生、障がい等の内容で違いを示して、押しつけや美談になっていない話が多く、そこはすごく良いと思いました。

日本文教出版か光村図書かで考えましたが、いじめや情報モラルについて話し合ったり、考えたりする機会が多くある方が良いと思うのと、どの先生も同じように授業がしやすいという意見もお聞きして、日本文教出版が良いと思います。

西川委員

2年前に特別の教科道徳が初めて導入され、議論したことを思い出しました。考え議論する道徳ということで、何を考えるのかを焦点化されないまま議論していても駄目であり、テーマが示されて、先生がしっかりと議論できるような道徳、今まで研究されてきた先生も、そうでない先生も同じレベルで取り組めるのではないかと思います。

また、摂津市の子どもたちの携帯、スマホの保有率について、情報モラルやいじめ問題がユニット形式で取り扱われていること。そんなことを考えるなかで2年前に採択した教科書に大きな変わり

がなく、現場から不適切だとかいう声も上がっておらず、選定委員会が推薦しておりますので、おそらく学校現場でも研究授業等が進められていると考えますので、日本文教出版が良いと思います。

教育長

私も西川委員と同意見で、もう4年同じ教科書で続けてやってみるべきだと思いますので、日本文教出版が良いと思います。

ということで、特別の教科道徳につきましては全員一致で日本文教出版を採択したいと思いますがよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

異議なしとのことですので、特別の教科道徳は「日本文教出版」といたします。以上で各種目の採択が終了しましたが、何かご意見ございましたらお願いします。

福元教育長職務
代理者

採択で意見が分かれたが何種目かあったと思います。今後の教科書採択の参考とするため、議論内容について事務局で記録を残していただくようお願いします。

教育長

私も何回か教科書採択に関わりましたが、こんなに票が分かれたのは初めてだと思います。それは、各者が工夫し良い教科書を作っていたらいい結果だと思います。

前回の採択でお伝えしたこの教科書のここが良かったという点を各者取り入れていただき、本当に差がつけにくいものでした。今回の採択につきましても保護者代表の方のご意見も含めて教育委員会として出した結論ですので、ご理解いただければと思います。

また、今後は各者デジタルコンテンツの使い方についてもう少し工夫がいるのかなと感じました。今回の結果だけでなく、我々の意見も参考にいただき、今後ともより良い教科書をおつくりいただけるとありがたいと思いますのでよろしくお願いします。

それでは、最後に採択結果について確認させていただきます。

国語 株式会社三省堂

書写 東京書籍株式会社

社会・地理的分野 株式会社帝国書院

社会・歴史的分野 日本文教出版株式会社

社会・公民的分野 教育出版株式会社
地図 株式会社帝国書院
数学 学校図書株式会社
理科 株式会社新興出版社啓林館
音楽・一般 株式会社教育芸術社
音楽・器楽 教育出版株式会社
美術 日本文教出版株式会社
保健体育 株式会社学研教育みらい
技術・家庭技術分野 教育図書株式会社
技術・家庭家庭分野 東京書籍株式会社
英語 光村図書出版株式会社
特別の教科道徳 日本文教出版株式会社
以上でございます。

これで令和3年度使用中学校教科用図書についての審議を終了
します。それでは、今後の情報公開に関わる日程について説明をお
願いします。

教育支援課長

今後の情報公開に関わる日程について確認をいたします。教科用
図書の採択事務に関することについては、一定期間、具体的には文
部科学省が示す採択期間である8月31日まで非公開ということ
で進めてまいりました。しかし、本日の採択に係る審議を公開とい
たしましたので、採択結果のみ速やかに公開し、議事録等につい
ては整えた上で、9月1日以降に公開したいと考えておりますが、い
かがでしょうか。

教育長

先ほどの日程について、異議はございますか。

全委員

異議なし。

教育長

異議なしということですので、そのようをお願いいたします。
以上で議案審議を終了いたします。

これを持ちまして本日の案件はすべて終了いたしましたので、臨
時教育委員会議を終了いたします。皆さんご苦労様でした。